

平成 29 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 シンデン・ハイテックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 淳
 (コード番号：3131)
 問合せ先 専務取締役管理本部長 齋藤 敏 積
 (フリーコール：0800-5000-345)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 11 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期業績予想を、平成 29 年 10 月 25 日開催の取締役会において、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせします。

記

●業績予想の修正について

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 47,208	百万円 935	百万円 748	百万円 497	312 円 04 銭
今回修正予想 (B)	51,200	1,250	1,050	700	434 円 23 銭
増減額 (B-A)	3,992	315	302	203	
増減率 (%)	8.5%	33.7%	40.4%	40.8%	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	44,440	838	502	362	219 円 39 銭

2. 業績予想の修正理由

平成 30 年 3 月期の通期業績に関しまして、平成 29 年 5 月 11 日に公表しました通期業績予想を、修正する理由は以下のとおりとなります。

(1) 売上高

当社グループの業績は、一部生産調整等の要因があったものの、メモリ市況の追い風を受けほぼ計画どおりに推移していたところに、大口受注の装置ビジネスで急拡大しました。

売上高は、51,200 百万円 (前回発表予想値より 3,992 百万円増) を見込んでおります。

以下に品目別の状況を記載します。

a. 液晶分野

当初の計画どおりに推移しておりますが、為替想定レートを当初の 117 円/US\$ から、112 円/US\$ としたことにより、当初の計画に対し、208 百万円の減と予想します。

b. 半導体分野

メモリ市場の増勢を受け、ほぼ計画どおり推移するも、一部顧客の生産調整及び納期調整で当初計画より減少したビジネスの影響を受け、当初の計画に対し、395 百万円減と予想します。

c. 電子機器分野

異物検出装置が計画どおりの推移であること、そして、平成 29 年 6 月 26 日に適時開示を行った、計画外の半導体検査装置の受注により、当分野の売上高の通期見通しは、当初計画に対し 4,676 百万円増と予想します。

d. その他分野

バッテリービジネスおよび EMS(Energy Management System)等バッテリー周辺機器の進捗度合いに比べ、部材関連商品が減少傾向にあるため、当初計画に対し 64 百万円減と予想します。

- (2) 営業利益は、上記(1)売上高に記載しましたとおり総じて好調であることや、比較的採算性の高い商品の販売に努めることにより利益額を確保し、かつ、一般販売管理費に大きな増減要因がないこと等により、1,250 百万円（前回発表予想値より 315 百万円増）を見込んでおります。
- (3) 経常利益は、主たる要因として、上期に発生した外貨建て資産・負債の評価損等を加味したため、営業外費用は増加するものの、1,050 百万円（前回発表予想値より 302 百万円増）を見込んでおります。
- (4) その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、700 百万円(前回発表予想値より 203 百万円増)を見込んでおります。
- (注) 上記の業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、本予想数値と異なる可能性があります。

以 上